

三和精鋼



社長 佐藤

三和精鋼（本社・秋田県にかほ市、社長・佐藤勉氏）は、1981年の創業。産業機械、半導体製造装置、航空機関連向けに鉄、ステンレス、アルミニウムなど幅広い素材を用いた製品需要に対応している。

と、近年は加工販売に大きくシフトし、現在は加工品売り上げが全体の約8割を占めている。客先の一品物に対応する切削加工が強みで、ステンレスの6面フライス加工、



2018年に秋田県にかほ市に開設した本社・新工場

日本国機工（山形県鶴岡市）をM&Aで傘下に収め、精密機械加工の拠点としている。営業は北東北（青森、岩手、秋田）を本社、南東北（宮城、山形、福島）を23年に山形県天童市に開設した山形営業所でカバーする。佐藤社長はプロパーとして昨年社長に就任。地域密着型の営業展開で、かす「人とのつながり」を重視する。

度以降、両頭フライスの老朽更新、自動面取り機の導入、工場レイアウトの変更などを検討・予定している。

足元の稼働率は7割程度だが、ここに至るまで半導体製造装置向けの需要が上昇傾向という。「ここ数年先送りされてきたが、年明けから追加オーダーも入り始めている」と、今後の需要復調を見込んでいる。（小室 慎）

切削加工の強み生かし差別化

二次加工などニーズ対応で受注増

以前は金型材料向けの普通鋼、炭素鋼、工具鋼、特殊鋼など素材の在庫販売も行っていた。「他社がやらないことをやる」という差別化方針のもの

受けた二次加工から仕上げ・検査まで一貫して請け負う全加工の仕事も増え、ユーザーの省エネ、コスト削減を実現している。2018年に現在の工場を建設した。19年には

材不足、若年採用」と語る佐藤社長。全従業員130人中、インドネシアやベトナムからの技能実習生が24人を占めるほか、社員の平均年齢は48歳（実習生を除く）と高く、若年者確保が急務な状況にある。そのため労働力不足、品質安定化、生産性向上に向け、来年

会社概要

- ▽売上高〓約30億円
- ▽本社所在地〓秋田県にかほ市芹田字六坊15
- ▽社長〓佐藤勉氏
- ▽電話番号〓0184-3813811
- ▽扱ひ品種〓普通鋼、工具鋼、炭素鋼、特殊鋼、ステンレス、アルミ、樹脂、伸銅品